

8 「日本経験」から見た中国
国分良成 防衛大学校長

10 異議を唱える野生の言葉
Ashis Nandy トミン・ナンデー 思想家

■ 特集

再始動
安倍首相の
挑戦

- 16 総論 安倍再チャレンジ
外交の位相
岩見隆夫 政治評論家 毎日新聞特別顧問
- 22 岸と安倍―外交路線の
継承と断絶
谷内正太郎 内閣官房参与 元外務事務次官
- 27 安倍戦略外交の核心
アベノミクスの核心
本田悦明 内閣官房参与 静岡県立大学教授

44 ナシヨナリズムではなく
科学進歩で国をまとめよ
フイリップ・リップシー
スタンフォード大学政治学部助教授

51 日韓未来ビジョンの構築を
陳昌洙 世宗研究所日本研究センター長

58 北方領土問題に安倍新思考を
ヴァイクトル・クジミンコフ
ロシア科学アカデミー極東研究所 日本研究センター上級研究員

64 日本の存在に関わる
試練に挑む安倍政権
ハモンド・クリシヤン・シン 元駐日インド大使

69 アベノミクスへの期待と不安
ヘンリー・トウリックス 英エコノミスト誌東京支局長

86 グローバルトレンド2030(要旨)ト
米国家情報会議

162 古典読みかえし

『日本の禍機』 朝河貫一 著
加藤良三 元駐米大使

『職業としての政治』 マックス・ヴェーバー 著
増田寛也 元総務大臣

■ 提言

142 余剰プルトニウム問題は最優先課題
太田昌克 共同通信編集委員、論説委員兼務

■ 特別企画

朝鮮半島新情勢の構図

- 94 パワーシフト後の朝鮮半島
鈴木美勝
- 96 「G2時代」
韓国・朴槿恵外交の挑戦
李鍾元 早稲田大学教授
- 102 日韓の変化を映す
「フォーラム20年」
若宮啓文 日本国際交流センターシニアフェロー 評論家
- 108 北朝鮮・金正恩体制の
「遺訓政治」と今後の展望
平岩俊司 関西学院大学教授

■ 連載

114 追悼・中嶋嶺雄氏
猪口孝 新潟県立大学理事兼学長
名越健郎 拓殖大学教授

■ 音楽と外交

ライプ8
「ザ・ロング・ウオーク・トゥ
ジャステイス」
小栗勘太郎 音楽愛好家

136 密約史観を超えて下
河内孝 ジャーナリスト

141 アメリカ政治アネクトド
小谷部一郎 在米ジャーナリスト

147 Cartoon says it all
マンガをみれば世界がわかる
西川恵 毎日新聞専門編集委員

148 ニュース裏読み深読み
「太子党体制」で動く極東
伊奈久喜 ジャーナリスト

150 映画と戦争
国境を超えるとき
藤原帰一 東京大学教授

156 苦言賞賛
「外交再建政権」に必要なもの
後藤謙次 ジャーナリスト

■ 外交の要諦

小倉和夫 青山学院大学特別招聘教授
「書評」
Japanese
今必要なのは、歴史への
省察と自己確認
村田晃嗣 同志社大学教授

166 English
オリバー・ストーンが描く、
もう一つの「米国現代史」
高濱賛 在米ジャーナリスト

Chinese
胡錦濤体制下の
「失われた10年」
坂井臣之助 ジャーナリスト 翻訳家

172 グラズルーツ発 外交の架け橋
鈴木りえ子
NPO法人「レラム」アジア・パシフィック理事

174 WORLD NEWS
安倍政権の領土交渉へ
「地ならし」
平岩貴比古 時事通信モスクワ特派員
多重効果を享受する米国
ジェントリー・順子 時事通信シカゴ支局員

Viewpoints

- 120 中国「和平発展の道」は可能か
金子秀敏 毎日新聞論説室専門編集委員
- 126 習近平政権が仕掛ける
「台湾―尖閣」の連動
坂井臣之助 ジャーナリスト 翻訳家
- 132 EU離脱か―「危険な賭け」に
出た英首相の大戦略
馬場千奈津 時事通信ロンドン支局員

- 74 一点視界
「尖閣問題」中国側は話し合いを控えたい
とし、日本側は聞きおくに留めた」
田島高志 元駐カナダ大使・元中国課長
- 81 ミンダナオ和平への日本の貢献
竹若敬三 在フィリピン大使館次席公使